







ニッケイ俳壇 (693)

4月上

富重久子 選

わが古いを老人と共バロとひ 真夜中の電話にきく秋気かな 私にも一言あり女性の目木に等立て忘れた秋の暮

「わが古いを」と云う程の歳ではない作者である。しかし何かにつけて心身共に疲れた時など、ふと自分の古いを感じるのは誰でも同じ事であるが、続いて「老人と共」と中七に据えたあたりは、実に適切な省略の利いた言葉

蛇は春の彼岸に穴から出、秋の彼岸に蟄居すると云われる。しかし天気の良い日など動作の大部分は蛇を見かけることがあり、この様子を「穴まど」と呼び秋の季節である。自分の老いと老人との組み合わせに、「穴まど」という季語の絶妙な選択に新鮮味を感じる佳句であった。

アチバヤ 吉野 幸輔
奥に急ぐバラナ街道霧深し 睦み合ふ小鳥は馴れて近くまで 霧の道線をかきいで父子連れ 起きて先へて朝カフエ

「霧」は秋の季節とされているが、朝霧、夕霧、霧の帳、狭霧などとその傍題は多く沢山の俳人が好んで使う季題で、又多くの佳句が残されている。

この句はその様な霧深いバラナ街道を、急遽葬式に間に合わせるため車を急がせている様子である。五七五のリズム正しく適切な季語を持って引き締めた、臨場感に溢れた佳句である。他の3句も作者のきめ細かな優しさの感じられる

一壁は紙飾り日語楼 ふうと消えてゆきし人恋ふ流れ星 ちちる鳴く二人で遅き夕陽とく 広すぎる家に二人やちちる鳴く

「評」自然人生一致融合の境地と言ったひともあり。人生もミクロからマクロまでであるので。4、5首、実相観入せんとする眼。

クルチバ 梶田 きよ
「詠歌に行きたる亡父を待ちたるは土産の折詰昭和の想い出 中唐は徳の至れるなりという小学時代に習いし言葉 (七重八重花は咲けども) この歌に惹かれて短歌始めし吾は 想像も出来ぬ地下街に万というチューリップ咲く歌におどろく ちぎれ雲西となりて漂る夕べの空にまたも頭つ人

ソノカバ 新島 新
不器用は壁を塗っても現われし意図せず濃淡縞模様 塗り直し二回三回して見てもペンキ余計に食うばかりなる 愛犬を連れて通ればテラスより身を乗り出して牙を向く犬 持て成さる黄な粉ばた餅大好物新茶の香り居間に漂

霧のぼるカンボス旧道九十九折 燈台の回る灯明り夜霧とふ この土地に移住の歴史柿赤し サバウロ 佐藤 孝子

秋刀魚焼く七輪知らぬ子供達 街見えて続く渋滞秋の虹 秋の虹たつた一人といふ時刻 サバウロ 須貝美代香

秋晴れや一人屋敷の一夜漬 散らかせど憎めぬ小鳥美の紅き 星月夜洗濯物はそのままに サバウロ 伊藤 智恵

雨近し除草を急ぐか鱗雲 シャッター切る色とりどりにクワレスマ アマゾンのピメンタ作り日本人 サバウロ 中川 千江子

秋風や又一つ消す住所録 相容れぬままの別れや秋の風 恙がなく今日も別れや秋の鳴く 不器用に生きて八十路や露滋し

もぎ取りて秋茄子籠に軋みをり 秋茄子を網に転がす焼き加減 改修にやがて刈らるる草草 今朝もまた露草眺め眺め

爽やかに綿のシャツ着てインタビユー 〇綿柄はどちらかと言うと、男性のシャツの方が爽やかに感じられるが、どうしてであろう。 風爽とインタビユーに答えている姿が印象的

カルナバル家族全員参加して あるなしの風にコスモス軽く揺れ 秋草を何気なく摘み仏前へ サバウロ 山本英峯子

老妻は塩齋好きでよく焼けり食べない我は匂い好きなり 「評」3、4首終止形につづく下句の旨さ、面白さ、これも氏の作品世界をなしている。 自の持ち味で行きたい。

真夏日の正月なれば思い出す津軽平野のしろがねのゆき 夕焼に光り輝く黄色花枝にける黄花香枝 「評」初投稿と思う。1首目の5句は「はくぎんせつ」よりやはり「しろがねの雪」の方が落付きがある。作品は2行書きに、そして5首までいいです。御精進を。

全伯短歌大会作品の募集が始まっています。自作品20首、締切6月10日。応募料20レアイス。シエンキノミナル(Herumi Kanatani)。作品に同封送り先 Herumi Kanatani, Av. Sao Paulo, 625, Id. Jordonopolis, Sao Bernardo do Campo, CEP 08992-330

投稿送り先 HIROHKO KOZUMA R. dos Jacintos, 372, ap. 51 04049-050 sp - Capital Tel. 11-2818-9233

「赤まんま」は、はなたでの別称、路傍の野草に混じって咲く可憐な花。草刈をしながらまりの愛らしい佳句である。 刈り迷っている姿が見える 様な吹き抜く室は心地よく この残暑賢治は何と吹きし

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春待つ 連山の座りなほして眠りけ 横山 ミキ 甚六の鬼の大声春近し 男唄 正志 枯草の風は咖啡彩の渦 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 雪降らぬ国に永住移民古り 伊藤 俊二 人家吞みし海暗々と春の月 吉田しのぶ 七つ星見えぬ異郷に半世紀 賀状書く逢ひたき人の遠か 小野寺秋秋 待望の1姫二郎揚花火 百選の浜の濃ゆる春津波

猪野ミツ子 秀逸 被災地は夫の古里春



# 岐路に立つ日本の造船業

## 2年後は「受注残ゼロ」 船にも二酸化炭素排出規制

【共同】日本の造船業が岐路に立っている。コスト削減や設備投資の遅れで中国や韓国のライバルに受注量が大きく差をつけられ、あと2年ほどで大手造船会社の受注残がゼロになる。「2014年問題」が現実味を帯びてきているからだ。



日本の造船業界の統合が進めば、技術と競争力を確保できる。日本造船工業会長の金和明氏。

3月9日、三菱重工の神戸造船所(神戸市兵庫区)で、同造船所の建造では最後となる商船の進水式が開かれた。詰め掛けた神戸市民や三菱重工OBら約6500人の参加者は、歓声を上げるように船の進水を見送った。

三菱重工は商船建造を長崎造船所(長崎市)と下関造船所(山口県下関市)に集約。大宮英明社長は、1000年を超える歴史を持つ神戸の商船建造を終える理由を「今後、三つの大きな造船所を持つことは難しくなる」と説明した。

日本造船工業会(東京)によると、11年末時点で日本の造船会社は約3427万総トン。業界のこの数年の建造量は年1600万〜2千万総トンで推移しており、最近の新規受注量の少なさを重ねていっている。

と、このままでは2年で造船がなくなることあり得る。(業界関係者 状況だ)

ユニバーサル造船(川崎市)とアイ・エイチ・アイ・マリナーズ(東京)が10月に経営統合することを決めたのも、こうした現状への危機感がある。事業基盤を強め、韓国などの海外勢に対抗するのが狙いだ。日本造船工業会の金和明会長は「統合が進めば、技術と競争力を確保できる。国内を2〜3社に、それに近い数に集約できれば理想的だ」と話す。

日本の造船業にも光明はある。海上でも二酸化炭素(CO2)排出規制の動きが出ていることや、燃料費を下げたい海運会社の意向を背景に、環境性能に優れた「エコシップ」の需要が高まっていることだ。日本の各



被災地に黄色のハンカチを掲げ、佐藤吉男さん(仙台市若林区荒浜)。

### 再生願う黄色のハンカチ

#### 津波被害の仙台・荒浜地区

【共同】津波被害が大きな仙台市若林区荒浜で、黄色のハンカチを2〜3社に、それに近い数に集約できれば理想的だ」と話す。

日本の造船業にも光明はある。海上でも二酸化炭素(CO2)排出規制の動きが出ていることや、燃料費を下げたい海運会社の意向を背景に、環境性能に優れた「エコシップ」の需要が高まっていることだ。日本の各

## 市の命名権売ります

### 泉佐野、大胆施策に反響

【共同】市の命名権を売ります。財政破綻の懸念を抱える大阪府泉佐野市が打ち出した大胆な施策が大きな反響を呼んでいる。「恥だ」「生活がよくなればいい」と市民の反応が分かれ、実現可能性には疑問符が付きまとう。ただ、財政状況は「10年度健全化団体」に認定され、2009年には財政健全化団体として「早期健全化」の地方債残高は約27億円に上る。市長公室によると、4

月6日現在、市には80件の意見が寄せられ、約6割は反対意見だった。ある男性(85)は「市名を売るのは恥」とあきれかたげ、男性会社員(49)は「市民サービスがよくない」と肯定的だ。市は、6月から半年間、企業からの応募を受け、市の名称や市役所、市道を企業名や商品名に変更することを検討。契約期間は1〜5年程度を想定する。ある企業の「×××」という商品名が採用されれば、契約期間中は泉佐野市が「×××市」になる。地方自治法では市名の変更には、府知事との協議が必要。条例を施行した時点で市名変更になる。同法に規定はないが市民の意向も無視できず、

【共同】津波被害が大きな仙台市若林区荒浜で、黄色のハンカチを2〜3社に、それに近い数に集約できれば理想的だ」と話す。

日本の造船業にも光明はある。海上でも二酸化炭素(CO2)排出規制の動きが出ていることや、燃料費を下げたい海運会社の意向を背景に、環境性能に優れた「エコシップ」の需要が高まっていることだ。日本の各

【共同】宮内庁の小町恭子東宮大妃は6日、皇太子妃雅子さまが「お疲れがたまり、体調が崩れやすい状態にある」とする医師団の見解を明らかにした。引き続き静養を中心とした生活、私的なことから徐々に活動の幅を広げられる方針という。小町氏は3月の記者会見で「(雅子さまの)体調に波がある」と発言。その後、週刊誌でさまざまな報じられたことか

【共同】宇都宮市にある国の重要文化財「岡本家住宅」で、小説家芥川竜之介(1892〜1927)年刊、雑誌「文芸春秋」を創刊した菊池寛の書簡約250点が、芥川が自殺する2年前の書簡では、健康不安などに触れている。調査した岡本文化財保護審議会委員で元高校教師の大塚浩良さん(67)は「晩年の精神状態を知る手がかりになる資料だ」と話している。芥川の書簡は2通、2

### 体調崩れやすい状態に 雅子さま医師団が見解

【共同】宮内庁の小町恭子東宮大妃は6日、皇太子妃雅子さまが「お疲れがたまり、体調が崩れやすい状態にある」とする医師団の見解を明らかにした。引き続き静養を中心とした生活、私的なことから徐々に活動の幅を広げられる方針という。小町氏は3月の記者会見で「(雅子さまの)体調に波がある」と発言。その後、週刊誌でさまざまな報じられたことか

### 健康不安つづる 芥川竜之介の書簡発見

【共同】宇都宮市にある国の重要文化財「岡本家住宅」で、小説家芥川竜之介(1892〜1927)年刊、雑誌「文芸春秋」を創刊した菊池寛の書簡約250点が、芥川が自殺する2年前の書簡では、健康不安などに触れている。調査した岡本文化財保護審議会委員で元高校教師の大塚浩良さん(67)は「晩年の精神状態を知る手がかりになる資料だ」と話している。芥川の書簡は2通、2

### 民族の苦悩

【優秀なブラジル人を沢山養成してくださる。それを期待します」と、別の握手をさしおける。この視学官の温情はブラジル国家の温情のように僕らの胸に沁みこんだ。

倉庫の前では新里が役所の係員の手伝いを受けながら、荷物をトラックに積込んでいた。後一も城間も上着を脱いで手伝ったが、ごく普通の机と椅子の一つ一つが得難い宝物に思えて嬉しかった。

16 新農年

### 求む 少年 PRECISA-SE

RAPAZ ORIENTAL que RESIDE no BAIRRO da LIBERDADE para TRABALHAR em ESCRITÓRIO com CONHECIMENTO em INFORMÁTICA.

Tels.: (11)3208-3636 (H. Coml.) c/ Roberto 5641-5054 (à Noite)

**Shiawase**  
Regina e Valmir

Inscreva-se para conhecer gente nova e se divertir

- Teremos eventos de confraternização
- Festa em local a ser combinado
- Encontro à dois (à combinar)

tel.: (11)3805-7024  
cel tim: (11) 8621-5043  
cel vivo: (11) 7186-8370  
email: shiawase-ni@hotmail.com

LONDRINA / SÃO PAULO				SÃO PAULO / LONDRINA			
Saída	Frequência	Chegada Prevista		Saída	Frequência	Chegada Prevista	
13:00hs.	Diário	19:35hs.	Double Class	10:30hs.	Diário	17:40hs.	Double Class
23:00hs.	Diário	05:35hs.	Double Class	15:00hs.	Diário	22:55hs.	LD
23:40hs.	Diário	06:15hs.	LD	23:00hs.	Diário	05:35hs.	Double Class

  

MARINGÁ / SÃO PAULO				SÃO PAULO / MARINGÁ			
Saída	Frequência	Chegada Prevista		Saída	Frequência	Chegada Prevista	
22:30hs.	Diário	06:45hs.	LD	21:45hs.	Diário	06:00hs.	LD

**VIAÇÃO GARCIA**  
Diminuindo Distâncias. Aproximando Pessoas.

INFORMAÇÕES : 0800 400 70 90  
www.viacaogarcia.com.br

月収入 10.000 REAIS 可能  
20.000 REAIS

COMERCIAL 営業... 25~50才(男女)  
CONTABILIDADE 会計... 〇〇名  
ADMINISTRAÇÃO 事務... 〇〇名

J. TV  
Tel: (11) 3337-2475  
Cel: (11) 9683-7733  
augustonam@hotmail.com

名刺/招待状/会報/新聞/ポスター/カレンダー/小冊子... 印刷全般

**日伯** nippak :: graphics  
グラフィックス

Tel: (11) 3208-4863 / 3271-0808 - E-mail: contato@nippak.com.br  
Rua da Glória, 332 (Edifício Diário Nippak) Térreo - Liberdade - São Paulo - SP



